

小平市成年後見制度利用促進計画の推進について

1 成年後見制度と後見人等の種類について

○成年後見制度とは

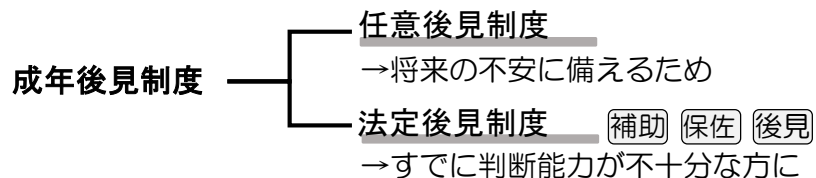
認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人の預貯金の管理など（財産管理）や日常生活での様々な契約など（身上監護）を支援していく制度です。

申立ては地域の家庭裁判所に行います。申立てを行うことができるのは、本人、配偶者、四親等以内の親族です。（必要に応じて市長等）

○成年後見制度の種類

成年後見制度には、任意後見制度と法定後見制度の2つの種類があり、成年後見制度を利用する人の状態によって、どちらの制度を利用するかを判断します。

さらに法定後見制度は利用する人の判断能力の程度に応じて3つの類型に分けられています。



任意後見制度

自分一人で判断が可能です。現在は一人で判断できますが、将来に不安を感じています。

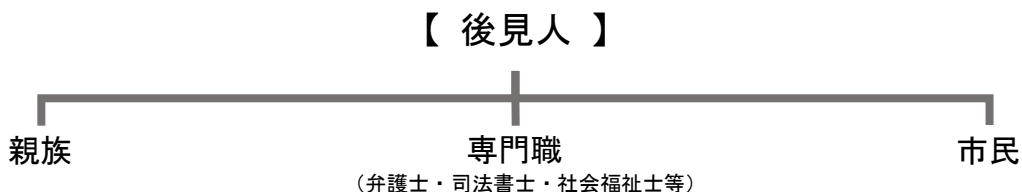
法定後見制度

補助類型：支援が必要な場合もあります。複雑な契約行為などは、誰かに支援してもらう必要があります。物忘れがあり、本人もその自覚があります。

保佐類型：大半の部分で支援が必要です。日常的な買い物はできますが、通帳管理などを忘れることがあります。本人が自覚していない物忘れが、しばしばあります。

後見類型：常に支援が必要です。日常的な買い物や通帳・印鑑の管理ができません。

○後見人等の種類について



後見人等になる人は、親族や専門職（弁護士・司法書士等）、市民後見人などがいます。

市民後見人は、制度を利用する人にとって身近な存在であり、住民目線で本人に寄り添った、きめ細やかなサポートができる強みがあり、新たな担い手として重要視されています。

2 成年後見制度に関する小平市の取組

小平市では、「権利擁護センターこだいら」が小平市成年後見制度推進機関として、事業の運営を行っています。権利擁護センターこだいらの役割として、地域の関係機関と連携し、成年後見制度の推進を図ること（地域推進ネットワークの活用）や、法律や医療、福祉等の専門家から意見や助言を仰ぐ場としての運営委員会の設置などがあります。

◇権利擁護センターこだいらの主な事業

－相談事業－

一般相談として、地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）や成年後見制度に関する福祉サービスの利用、苦情（介護保険に関するものを除く）に関する相談に対応しています。

また、市民からの相談のみならず、市民を担当する後見人等や福祉サービス関係機関からの相談も受け、課題解決に向けて継続的なチームケアも行います。

専門相談として、成年後見制度等の専門性の高い相談に対応するとともに、専門家による成年後見制度等の相談を定期的に行っています。

用語解説：「地域福祉権利擁護事業」

地域福祉権利擁護事業とは、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人と社会福祉協議会（権利擁護センターこだいら）が契約を結び実施する事業です。

利用者がどのような内容の支援を希望するかなどを話し合い、計画を作り、その計画に従って定期的に職員が支援を行います。

－その他の事業－

- 成年後見制度の利用支援
- 成年後見人等のサポート
- 市民後見人の養成
- 法人後見等の受任・実施
- 地域福祉権利擁護事業の実施
- 周知啓発・広報

◇権利擁護センターこだいらの各種相談件数

相談支援件数

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	身体 障がい者等	その他	合計
成年後見制度	1,610 件	169 件	793 件	1 件	331 件	2,904 件
地域福祉権利擁護事業	795 件	41 件	406 件	0 件	93 件	1,335 件
合計	2,405 件	210 件	1,199 件	1 件	424 件	4,239 件

地域福祉権利擁護事業契約者数・支援回数

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	身体 障がい者等	合計
契約者数	33 人	13 人	31 人		77 人
専門員・支援員による 支援回数	2,150 回	867 回	2,657 回		5,674 回

・年度内の新規契約者 24 人 ・年度内の解約者 20 人

成年後見制度申立て件数

	後見	保佐	補助	任意	合計
成年後見申立て件数	32 件	7 件	1 件	0 件	40 件
（うち市長申立ての件数）	22 件	2 件	0 件		24 件

※任意後見制度申立て件数の数値は「任意後見契約」締結後、実

資料：令和3（2021）年度事業報告及び決算書（社会福祉法人 小平市社会福祉協議会）

3 小平市成年後見制度利用促進計画の推進に向けた検討状況について

小平市成年後見制度利用促進計画の取組 1 の(Ⅰ)及び(Ⅱ)について、他市の取組も参考にしながら、小平市成年後見制度推進機関である小平市社会福祉協議会「権利擁護センターこだいら」と小平市の関係部署で検討を進めております。

【小平市成年後見制度利用促進計画】

○取組 1 (Ⅰ)制度利用促進の中核となる機関の設置

○取組 1 (Ⅱ)地域で連携して支えるネットワークの構築と権利擁護支援体制の整備

※重層的支援体制整備事業と成年後見制度利用促進に係る取組の連携

小平市では、令和6年度より重層的支援体制整備事業を実施するため、地域住民が抱える複雑化・複合化した課題に権利擁護が関係するケースについては、成年後見制度に關係する権利擁護センターこだいらや小平市の関係部署も連携することで、地域で活動する他の支援機関ともつながりを持って取り組んでいきます。